



## 大谷一紀先生

Kazunori Otani

### 【略歴・所属】

- 日本大学歯学部 卒業  
(日本大学歯学部歯科補綴学教室Ⅲ講座)
- 日本補綴歯科学会 専門医
- スタディーグループ Esthetic Explorers 主宰
- 大谷歯科クリニック 院長

※1 リライエックス™ ファイバー ポスト



※2 リライエックス™ ユニセム 2 オートミックス  
歯科接着用レジンセメント



## 接着性レジンセメントを 活用した ファイバー ポスト 直接法

平成28年1月に新規医療技術の保険導入としてファイバー ポストが承認されたことで、これまでメタルコアまたはメタルポストを使用した築造コアに加え、ファイバー ポストを使用したレジンコアが保険診療で可能となった。ファイバー ポストはメタルコアと比べ弾性係数が象牙質に近いことから歯根破折のリスクの低下やメタルによる光の遮断がなく審美的な補綴治療が行えるメリットがある。しかしながらファイバー ポストを使用するにはコア用レジン材と根管象牙質との接着、ファイバー ポストとコア用レジンとの接着を機能させなければならない。近年のレジン接着技術の発展は目を見張るものがあるが根管内の接着においては接着面のガッタパー チャー ポイントの除去、水洗後の水分の乾燥など接着阻害因子を取り除き、正しい接着前処理材の使用を行わない限りその恩恵を受けることは出来ない。

筆者はこれまで多数のシステムを使用し、現在では直接法をメインとしてファイバー ポストを臨床に取り入れている。スリーエムジャパン株式会社のファイバー ポストシステム「リライエックス™ ファイバー ポスト<sup>※1</sup>」は、2011年より臨床で使用する機会を得た(海外では2008年から本システムを販売)。本システムの最大の特長は前処理を要するコア用レジンシステムではなく接着性レジンセメントであるリライエックス™ ユニセム 2 オートミックス 歯科接着用レジンセメント<sup>※2</sup>をファイバー ポストの接着に使用するものである。リライエックス™ ユニセム 2 オートミックスは、硬化前は親水性であり湿潤下でも硬化が可能で、根管内象牙質と根管内ファイバー部分への前処理は不要となるため操作をシンプルにし、テクニカルエラーを防ぐことが期待できる。はじめてファイバー ポストを診療にご採用される先生方や既に補綴物接着用にリライエックス™ ユニセム 2 オートミックスをご使用されている方には取り入れやすい製品と思われる。

# リライエックス™ ユニセム 2 オートミックス 歯科接着用レジンセメントを活用した ファイバーポスト直接法の症例ステップ



## 1 根管治療後

根管治療後、ポスト孔形成を行う



## 2 根管形成

適切なサイズのドリルを用いて、  
ポスト孔を拡大・形成



## 3 根管清掃・乾燥

根管内を清掃後、ペーパーポイントにて乾燥



## 4 セメント填入

リライエックス™ ユニセム 2 オート  
ミックスを根管奥まで差し入れ、  
引き上げながら填入



## 5 ファイバーポスト植立

適切なサイズのリライエックス™  
ファイバーポストを植立



## 6 光照射

各ポストに対して40秒間光照射



## 7 アドヒーシブ塗布

スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒー<sup>シブ</sup>を残存歯質、ファイバーポスト部に  
塗布し、20秒間処理



## 8 光照射

ゆるやかなエアーで5秒間乾燥後、  
10秒間光照射



## 9 支台歯築造

光重合型支台築造用レジンを用いて  
支台歯を築造



## 10 光照射

通常に従い、光照射



## 11 支台歯形成

支台歯の形成



## 12 支台歯形成後

ファイバーポストレジンコアの完成



3M、ESPE、RelyX、リライエックス、スコッチボンドは、3M社またはその関連会社の商標です。  
※掲載の内容は、2016年6月現在のものです。

スリーエム ジャパン株式会社  
ヘルスケアカンパニー

歯科用製品事業部  
<http://www.mmm.co.jp/hc/dental/>

Please Recycle. Printed in Japan.  
© 3M 2016. All Rights Reserved.  
DEN-1353-AJ (061610)PN/MS

Web [3M歯科](#)

3 M ESPE コールセンター

 0120-332-329

9:00～17:00／月～金（土日祝年末年始は除く）  
フリーダイヤルが繋がらない場合は、  
03-6409-3157をご利用ください。